

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3029

地域の人たちに見守られて…

毎朝元気に登校！！ 塩屋小 結の浜子ども会



朝 7 時 15 分。結の浜団地には元気な声が集まります。

子どもたちと共にやってくるのは宮城弘隆さん。結の浜団地では 2 年前から毎朝、保護者が子どもたちと一緒に集団登校しています。現在は宮城さんを中心に団地の保護者で協力して、集団登校に付き添っています。国道 58 号線沿いは車の往来も多く、大きなトラックなどもすぐそばを通り、大人でも怖いと感じることがある道。もともとは塩屋の交差点を見てほしいと頼まれていた宮城さんですが、朝のいい運動にもなるので国道沿いを付き添って歩くようになりました。

団地から国道沿いを歩いて行くと、途中で出迎えてくれたのは塩屋の知念章区長さん。ここからは区長さんも一緒に登校です。そして、トミ商店前では塩屋駐在の山城さんが待っていてくれ、みんな揃って横断歩道を渡ります。

保護者や地域の方々の協力があり、毎朝安全に楽しく登校できる子どもたち。地域一体となって子どもを見守る光景がここにありました。

白熱の接戦!! 大宜味村老人クラブ連合会・各種団体グランドゴルフ大会

6月7日（金）、大宜味村老人クラブ連合会グランドゴルフ、大宜味村各種団体グランドゴルフ大会が行われました。

今年は天候にも恵まれ、気温と同じく熱い戦いが繰り広げられ、ホールインワンを出す選手が29名（うち3名は2回）もあり、各々の実力がレベルアップしている様子が見られました。

団体戦の1位～3位、個人の2位、3位は老人会が獲得し、今年も日頃の練習の成果を発揮してくれました。



芝(!?)を読む



辺土名朝清さん

平良正子さん

優勝!!

2位

3位



大宜味区老人会



津波区老人会 A



根路銘区老人会 B



こんなして打つんだよ

優しいニーニー♪



よ〜く狙って

監督!?



お母さん、頑張る

個人の部結果

総合

- 1位：前田正宏（大兼久成人会）
- 2位：嶺井敏勝（津波区老人会 A）
- 3位：玉城 栄（大宜味区老人会）

老人会

- 1位：嶺井敏勝（津波区 A）
- 2位：玉城 栄（大宜味区）
- 3位：前田幸輝（津波区 A）

成人会

- 1位：前田正宏（大兼久）
- 2位：辺土名朝治（饒波）
- 3位：金城 功（田嘉里 A）

青年会

- 1位：志良堂寛太（大青協）
- 2位：松川 雄太（大青協）
- 3位：新城 千明（大青協）

婦人会

- 1位：平良 政代（おおぎみみやらび）
- 2位：辺土名加代子（ヌーハ）
- 3位：千住 美和子（塩屋）

子ども会

- 1位：川上 錬（結の浜①）
- 2位：宮城妃奈野（結の浜②）
- 3位：玉城 颯（結の浜①）

人材を以て資源と為す 平成 25 年度大宜味村学力向上推進委員会総会

5月24日（金）、大宜味中学校体育館において平成25年度大宜味村学力向上推進委員会総会が開催されました。

今年度も「幼児児童生徒一人一人の「学ぶ意欲（チャレンジ精神）」を向上させ、自己実現（自立）の基礎を培う」ことを目標にあげ、わかる授業（学校・家庭教育）部会、キャリア教育（地域教育）部会、学推事務局それぞれの活動計画が提案されました。



先輩の功績から地域の歴史を知ろう 畠山重篤さん講演会



総会後には宮城県の NPO 法人森は海の恋人理事長の畠山重篤さんを招き、カキの養殖技術を世界に広めた大宜味村出身の「宮城新昌さんの生き方に学ぶ」と題した講演会が開かれました。

宮城県の気仙沼に住む畠山さんはカキの養殖業を営みながら川や森を守るために漁師仲間と協力して植林活動を行っている方です。

講演会の中で畠山さんは新昌さんの功績を語り、「カキの養殖技術ができたのは宮城さんのおかげ」と話してくれました。また、「森は海の恋人」の英訳を考える中で、皇后陛下から教わった恋い慕うという意味の「long for」を使ったというエピソードなども話してくれ、あっという間に講演時間が過ぎていきました。

畠山さんはこの日集まった村内の小中学生（小学5、6年生と中学生）に対し「地域の歴史をよく知った上で将来について考えてほしい」と呼びかけました。



森と海のつながりをわかりやすく紹介 畠山氏より本の寄贈



5月30日（木）、畠山さんより本の寄贈がありました。「カキじいさんとしげぼう」10冊、「Grandfather Oyster and Shigebo」（カキじいさんとしげぼう英語版）2冊、「牡蠣礼讃」7冊です。

これらの本は、各小中学校の図書館にあります。「カキじいさんとしげぼう」はイワガキのおじいさんとしげぼうの交流を通して、森が元気でないと海の生きものたちの元気も

なくなってくるという森と川と海のつながりをわかりやすく紹介してくれます。ぜひ、図書館に行ってみてください。

夜のやんばる素敵な出会い… ぶながやの里生涯学習講座



6月22日（土）、ぶながやの里生涯学習講座の第1回目として「夜の生きものウォッチング〜」が開催されました。

ぶながやの里生涯学習講座は大宜味村の自然や文化・社会への興味関心を培うと共に、地域リーダーとなる人材の育成を図ることを目的としています。

今回は私たちの足元にあるけれど、普段はなかなか気がつかないやんばるの魅力を知ってもらうため、講師に村山望さんを迎え「まるでタイムカプセル!? 地球でここだけやんばるの自然」と題した講義と夜の生きもの観察を行いました。

講義ではタイムカプセルのごとくやんばるにとどまっている生きものたちの紹介やケナガネズミやカエルたちの鳴き声を聞くなど珍しい体験できました。



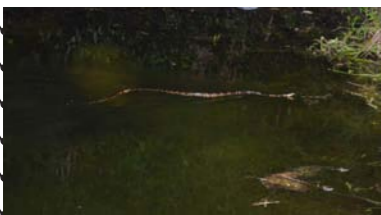
講義後は外に出て生きもの観察。泳ぐアカマタやミズカマキリを見ることもでき、天然記念物のナミエガエルやクロイトカゲモドキにも出会えました。

何を質問しても的確に答えてくれる村山さん。参加者からは「またやりたい」「違う季節でもやってほしい」という声があがりました。



講師の村山望さん

泳ぐアカマタ!! 俊敏です



いいポーズでとまってくれました



クロイトカゲモドキ



ナミエガエル

一番鳴いてくれました
リュウキュウカジカガエル

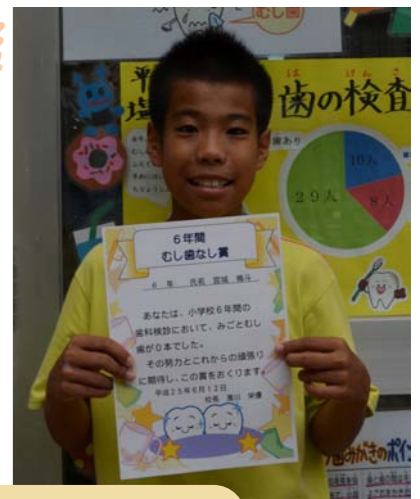


目指せ!! おじいになるまで虫歯0!!

塩屋小学校6年の宮城脩斗くんが、今年の歯科検診を終え、6年間虫歯なし賞を受賞しました。

毎日朝昼晩の3回ちゃんと歯を磨くという脩斗くんはとてもきれいな歯の持ち主。笑顔も素敵で歯の健康が体や心の健康につながっているということがよくわかりました。

脩斗くんは「6年間虫歯を予防できて良かった。大人になっても虫歯0でいたい。」と話してくれました。



- 1年生：宮城心美さん 玉城美愛音さん 志良堂世奈くん 宮城琉一斗くん
- 3年生：宮城敏伍くん 真喜志耀くん
- 4年生：宮城千尋さん 宮本琴乃さん
- 6年生：宮城脩斗くん 大嶺莉央さん



虫歯0本 やったね!

こども環境隊として奄美へ 大宜味中1年 金城さくらさん



大宜味中学校1年の金城さくらさんが、沖縄こども調査隊2013の隊員に選ばれました。

こども調査隊には県内各地の小中学生から53人の応募があり、作文審査、面接を突破した8名の隊員が選ばれました。さくらさんは7月30日から3泊4日の日程で奄美大島に行き自然調査をして奄美の山や川、海の生態系などを学ぶほか、地元の子どもたちとの意見交換などを行います。

沖縄と似ているようでも違う奄美大島の自然。実際に行って・見て・聞いて・触れてたくさんのことを学んで帰ってきてくれることと思います。さくらさん、一生懸命楽しんでください。

生活に欠かせない水 大切なダム 知ろう♪ 学ぼう♪ 平成25年度ダム施設めぐり



ぶながや館 ダムの役割やダムができるまでについてビデオとダム施設の仲宗根さんのお話で学びます。

6月18日（火）、村内の4年生（津波小は3、4年生）を対象にダム施設めぐりが行われました。

蛇口をひねればすぐ出る水、この水はどこから来ているのか？ダムは何のためにあるのか？

授業開始です!



脇ダム 脇ダムからダム湖を見学 実際に見てダムのつくりを学びます。暑さに負けず、真剣にメモを取ります。

本ダムを見上げて。 その高さに圧倒させられます



水の力で電気を作る機械。 とても大きな音で、説明も聞こえないくらいでしたが、みんな頑張って聞いてたくさん質問もしていました。

最後は質問タイム 「水源林を増やすために工夫してることはあるか？」などの鋭い質問も… 説明をよく聞いているから出てくる疑問です。素晴らしい!! とても貴重な体験ができました♪



第10回 元気!おおぎみ リクジョっ子大会

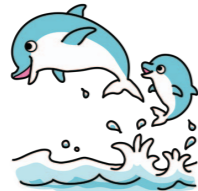
日時：平成25年7月6日（土）
 開会式：9：00～ 競技開始：9：30～
 場所：大宜味小学校グラウンド



今年も接戦が予想される本大会。どの校区も優勝に向かって練習に励んでいることだと思います。日頃の練習の成果を發揮し、活躍する子ども達の姿を見に来ませんか？ご家族、ご近所、ご友人お誘い合わせの上、応援に来てください。

水泳教室

- 期間：8月5日（月）～9日（金）予定
- 時間：午後2時～3時30分
- 場所：喜如嘉小学校プール
- 対象：小学生以上
- 定員：20名（先着）
- 参加料：100円（安全保健未加入者）



プール開放

- 日時：7月22日（月） 7月23日（火）
7月29日（月） 7月30日（火）
8月1日（木） 8月2日（金）
8月6日（火） 8月8日（木）
- 時間：午後4時～5時30分
- 場所：喜如嘉小学校プール
- 対象：小学生以上（保護者同伴が望ましい）



大宜味村 ウミガメ情報 2013

今年も～大宜味村の浜に～ウミガメがやってきた～！！ と言うことで…
 大宜味村のカメ仙人（失礼!?) こと米須邦雄さんから貴重なカメ情報をいただきました。
 今年の確認数は例年の3分の1程度だそうです。また、4年に1度来るアオウミガメの年でもあります。

NO	海岸名	上陸・産卵日	脱出予想日数	脱出予想月日 (±3日)	種類	上陸の状況等
1	喜如嘉	4月28日	75日	7月12日	アカウミガメ	
2	道の駅	5月17日	65日	7月21日	〃	
3	喜如嘉	5月26日			〃	産卵無し
4	〃	〃	62日	7月28日	〃	
5	津波(前食)	6月1日	60日	8月1日	〃	
6	根路銘	6月5日	58日	8月3日	〃	
7	道の駅	6月15日	52日	8月7日	〃	
8	道の駅	6月17日	54日	8月11日	アオウミガメ	



あじま～3月号で紹介した池原先生の教育委員だよりの続きです。池原青年のその後が気になっていた人も多いのではないのでしょうか？しばらくあいてしまいましたが、続きをご紹介します。

教育委員だより 「花づくりが好きになるまで（大学生生活編）」 池原弘昭

昭和42年3月中旬、琉球民政府発行のパスポートを手に税関の「出国検査」を受け、那覇港から鹿児島港へ向けて船出した。当時の見送り風景は七色の紙テープでそれぞれの関係者と別れを惜しむ情愛のこもったものであった。進学するために本土に渡航する者の明るさとは対照的に、特に中学を卒業して集団就職するものは、希望の中にも大きな不安をいだいていたのであろうか、「蛍の光」の曲とともに船が岸壁を離れやがて軽快な「だんじゅかりゆし」の曲になって船が走りだすと嗚咽し、母親や家族の名前を叫ぶ者が多く、千数百人の関係者の悲壮感が伝わり、万感迫るものがあった。



当時の船旅は、鹿児島港まで「上り口説」世界そのもので、「残波岬…伊平屋…道の島々…七島…硫黄ヶ島…佐田の岬…御開聞…桜島」と一泊二日、二等客室船底での厳しい28時間の船旅であった。ここでエピソードの一つを紹介しよう。乗船する前に港で小中高と同級生のMさんが博多の親族のもとに行くことを知り、私も叔父の住む小倉経由で上京する予定をしていたので共に行動しようと約束した。Mさんは同級生の中ではとても優秀で、美人でもあった。テレビドラマならば恋愛感情も芽生え、物語が展開していきだろうが現実には何も起きなかった。船中はもちろん鹿児島から博多駅まで、特急の中でも共に行動し、よく話し合ったはずなのに覚えていないのである。数十年たって、同級生会の席で、彼女から初めて本土に行った時のことについて尋ねられ、博多駅で「お互いがんばろう」と別れたことを思い出したのである。当時私は本土での生活、大学生活に不安が大きく連絡を取ることさえも思いつかなかったのであろう。

さて、小倉の叔父の家で二週間ほど世話になり、沖縄の習慣と本渡の生活の違いや言葉遣いまで指導されていよいよ東京に向けて特急寝台列車に乗り、18時間程で東京駅に着いた。そこには叔父の長男で早稲田大学の学生の従兄が迎えてくれた。一晚、小倉高校の東京寮にお世話になり、従兄の案内で翌日立教大学教養学部のある埼玉県熊谷市に移動した。大学で紹介された下宿先は天台宗の常安寺で大学までは4キロほどの距離があった。交通の便も悪く、相当田舎ではあったが本々沖縄のやんばるに育ち、高校時代の延長と覚悟を決めて駅伝で鍛えた足腰があるさと前向きに考えて自転車で通学することにした。



お寺の住職家族には沖縄出身という事で特に大事にされた。住職の檀家訪問や配下には末寺巡りの御供（といっても運転手等）を積極的に努めた。また、広い境内の清掃や樹木の手入れ、本堂の清掃、まき割りや風炉たき等も積極的に関わったので益々住職の信頼を得、息子同様に接して下さった。お寺での二か年間は修行みたいなもので夏は暑く、冬は零下5度にもなる厳しいところで、雪の時の通学は4キロも徒歩になり大変厳しいものであった。しかし住職家族の暖かい心遣いがあり、下宿をかわるという気持ちは起こらなかった。

教養学部は熊谷市といって都心から60キロも離れており、まだ70年安保闘争の影響は小さかったが、沖縄返還運動や大学紛争が激化すると大学本校が山手線沿線にあることもあって全国の上京する学生の宿泊する拠点校の一つになるにつれて教養学部も騒々しくなっていた。当時大学県人会は教養学部には無かったので、1年の10月になって、

県人の有志で教養部県人会を立ち上げ、沖縄の祖国復帰運動を進めようということになり県人会と沖縄問題研究会を組織することになった。すると何時の間にか県会長と研究会の会長をすることになり、学内で沖縄の祖国日本への復帰について演説をするようになっていった。その時に強く決意したのは、沖縄から勉強するために来たことを忘れず、どの党派（セクト）にも関わらずに沖縄の祖国復帰運動、一点に絞って運動をしていこうという決意をしたことである。県人会を学生運動の党派の争いに巻き込まないということであった。しかし、このような考えは学生運動をしている各党派（セクト）からは理

解されず、日和見主義者であると攻撃された。一時は講義を受けるのを妨害されたり、沖縄問題について演説しているとゲバ棒を持っている集団に囲まれたり、質問攻めにあたり登校も心配しなければならない状況にもなった。しかし、どの党派にも属さないその姿勢が次第にどの党派からも敵ではないと思われるようになったのか、それとも相手にしてもしようがないと思ったのか2年生になると次第に積極的に妨害することはなくなった。講義にも妨害の心配がなく当初の目的である学習にも十分に時間をかけることができた。

教養学部の1年、2年で心がけたことは、教員になるための科目と大学が日蓮の教えを基本とすることを踏まえ、日本仏教史と日蓮の宗学、哲学等を重視して履修に努めたことです。そして、大学での講義と別に一日平均8時間程度の学習時間を確保し努力したことです。高校で駅伝部の練習を通して背筋力と持久力は付けていたので目的のある学習はできるものです。

教養学部時代の体験、本校での3年、4年次の体験や勉学については次回につづく…



ドゥーチユムニー（独り言）

友寄景善

本村に生まれ育ち、ずっと暮らしてきた。小さいころから山や海を相手にし、様々なことを遊びの中から学び覚えた。一属一種の貴重な生き物、ケナガネズミやヤンバルクイナとも過ごしたことがあった。ヤンバルテナゴコガネは、桜の木から落ちてきたのを義父が拾いあげ、付近で作業中の大人に「子供のおみやげに」でもなればと託したようだ。その個体が専門家に渡り、後ほど世紀の大発見になるとは思いもしなかった。リュウキュウヤマガメは家族の一員として庭で普通に飼っていた。

近年、「やんばる」地域が世界自然遺産登録への動きがあるが、「そうなのか」程度の認識しかなく、あまり実感が伴わない。「貴重な自然」を特に意識したことがなく、あまり気に留めることもなかった。野生の生き物と普通に暮らし接して来たので学名を覚えることもなく、又注意深く観察することもなかった。ただ見過ごす程度の存在であった。

しかし、この程教育委員会が実施した生涯学習講座を通し学ぶことが多く、考えも変化してきた。講師の村山望先生が、映像を交えながら、「やんばる」地域が世界でも稀な地域であるということなどを易しく解説してくれ、よく理解できた。琉球諸島が大陸から切り離され、独自に進化した貴重な生物の宝庫であることを知った。生息環境は徐々に狭まり、現在は「やんばる」のごく限られた狭い地域に生き永らえているのが現実のようだ。

講義の後、懐中電灯を片手に夜の生きものウォッチングに出かけた。集落に近い場所であったが、天然記念物に指定されている、クロイトカゲモドキやナミエガエルとの出逢いもあった。ヒメミズカマキリやトゲナフシも初めて知った。注意深く辺りを電灯で照らすと、到る所に多様な生き物がいた。ぶながやの好物であるカニも沢山いた。サワガニの残骸が多かったが、ぶながやに食べられた残りであろうと勝手に想いを巡らした。

今月の生きもの



ホルストガエル：アカガエル科

ど〜も、こんばんは。私、ホルストガエルと申します。
カエルなんてどれもみんな一緒だなんて言わないでくれ。沖縄にいるカエルの中では大きい方だし（一番かも）、オタマジャクシの頃から大きくて最大全長9センチくらいあるやつもいるんだ。声も変わっていておじいさんの咳ばらいみたいってよく言われる…。
私たちの繁殖期は夏だから、夏の夜、沢から咳ばらいが聞こえたら私だと思って、しばらく声を聞いてみてね。

～編集後記～

今月号は記念すべき222号です。何が記念かって？ ニャンニャンニャン？ ニンニンニン？ ニーニー2?... なんちゃって。とくかくこんなに長く続いていることに感謝です。これからも見やすく、飽きないあじま〜にしていくことを心がけます。

🦀 7月の行事予定 🌟

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1日（月）区長会
夢・語るウィーク ～5日 | 14日（日）村球技大会 |
| 2日（火）村教委学校計画訪問②（幼・給セ） | 15日（月）海の日 |
| 5日（金）夕涼み会（喜保） | 19日（金）一学期終業式（幼・小・中）
村青少協理事会・総会 |
| 6日（土）第10回リクジョっ子大会
郡軟式野球大会 ～7日 | 20日（土）村学推キャリア教育部会②（視察研修） |
| 7日（日）村ボウリング大会 | 22日（月）プール開放 |
| 9日（火）体験の翼入団式 | 23日（火）プール開放 |
| 10日（水）海外短期留学激励会 | 24日（水）西会津町体験の翼受入 ～26日 |
| 12日（金）海外短期留学出発 ～8/1まで | 26日（金）夕涼み会（塩保） |
| | 29日（月）プール開放 |
| | 30日（火）プール開放 |

